

第9回日本放射線事故・災害医学会

令和3年7月吉日

各位

第9回日本放射線事故・災害医学会
大会長 長谷川 有史
公立大学法人 福島県立医科大学

第9回日本放射線事故・災害医学会のご案内

廃炉における医療の課題

この度、第9回日本放射線事故・災害医学会の大会長の任を拝命させていただきました公立大学法人 福島県立医科大学の長谷川です。皆様におかれましては、平素より当学会への過分なご支援を賜り、改めて御礼申し上げます。

今般の新型コロナウイルス感染症は国内外で猛威を振るい、収束の兆しが程遠い状況です。当学会の皆様の中には、今まさに新型コロナウイルス感染症の対応に追われている医療従事者の先生方もおられるかと思えます。このような状況下の中で、第8回日本放射線事故・災害医学会の大会長であった栗原先生がウェブでの開催を成功裏に収めたことは記憶に新しいと存じます。本年度も感染症対策並びに、先生方の貴重なお時間を鑑み、今大会に於いて学会をウェブでの開催とさせて頂くことになりました。

さて、9回目となる今年度の学会のテーマは、「廃炉における医療の課題」と致しました。福島第一原子力発電所(福島第一原発)事故から10年が経過して、事故の全体像がやっと明らかになりつつあります。今大会では午前は教育講演1として UNSCEAR2020 を通して、その健康影響に関する全体像を皆様と共有したいと考えております。さらに、我々は福島第一原発事故の教訓を将来の危機対応に生かす観点から、教育講演2として、放射線・核物質の国際情勢について学び、我が国が抱える放射性物質に関する問題点を世界的な視点から、皆様と考えていきたいと存じます。また、午後のシンポジウムでは、現在我々が直面する「廃炉における医療の課題」として「 α 核種内部汚染に関するリスクと対策」を皆様と議論したいと考えております。 α 核種内部汚染の事例では、JAEA の大洗研究所におけるプルトニウムの吸入事故を線量評価と治療の両側面よりお話いただく予定です。加えて、福島第一原発の廃炉における α 核種内部汚染リスクとその対策について現場の皆様からご紹介いただき、その具体的な医療対応を模索してゆきたいと考えております。

最後に、本学会が被ばく・汚染を伴うあらゆる医療に関わる多様な背景をもつ関係者の皆様の情報と意識の共有、並びに万一の際にも迅速に対応可能な柔軟かつ実効性ある医療体制の構築に少しでもお役立ちできることを願っております。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時:2021年9月4日(土)9:50-16:20
2. 場所・方式:福島県立医科大学よりオンラインによる配信(zoom ウェビナーを使用予定)
〒960-1295 福島県福島市光が丘1
3. 参加費等:参加費:会員 無料 非会員 2,000円
4. プログラム 教育講演1「UNSCEAR2020レポートの概要」
教育講演2「知っておきたい放射性物質・核物質の国際情勢-防衛医官からみた放射線事故・災害医療」
シンポジウム「福島第一原発におけるα核種内部汚染のリスクと対策」
5. 参加受付:2021年7月23日(金)～8月23日(月)
ウェブでのお申し込み

電子メールでのお申し込みはワードファイルをダウンロードし、必要事項を記入して大会事務局宛に送信してください。

<ファイルダウンロード>

参加申し込みをされた会員・非会員の方には9月2日までに視聴方法のご案内をします。9月2日中にメールが届いていない会員・非会員の方は、下記アドレスにご連絡ください。

尚、非会員の方は必ず8月23日(月)までに指定の振込先へ参加費をお納めください。

6. 大会事務局:第9回日本放射線事故・災害医学会大会事務局
〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 放射線災害医療学講座 内

以上

第9回日本放射線事故・災害医学会年次集会概要
廃炉における医療の課題

大会長：長谷川有史 公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 放射線災害医療学講座
日時： 2021年9月4日(土)9:50-16:20
会場： ウェブ開催(福島県立医科大学)
理事会： 学術集会終了後直ちに開催(16:20以降)
総会： 13:00-13:25
参加費： 会員 無料、非学会員 2,000円

プログラム

- 09:30-09:50 会場(接続確認)
09:50-10:00 開会挨拶
- 10:00-11:00 教育講演1 「UNSCEAR2020 レポートの概要」
座長 鈴木 元(国際医療福祉大学クリニック)
演者 明石 眞言(東京医療保健大学)
- 11:00-12:00 教育講演2 「知っておきたい放射線・核物質の国際情勢-防衛医官からみた放射線事故・災害医療」
座長 長谷川有史(福島県立医科大学)
演者 清住哲郎(防衛医科大学)
- 12:00-13:00 休憩
13:00-13:25 総会(会員のみご参加ください。)
13:25-13:30 休憩
- 13:30-16:05 シンポジウム「福島第一原発における α 核種内部汚染のリスクと対策」
司会 長谷川有史(福島県立医科大学)、廣橋伸之(広島大学)

<シンポジウムの目的>

本シンポジウムの目的は、福島第一原発で発生する α 核種内部汚染発生時に質の高い実効性ある医療サービスを提供することである。そのため、本シンポジウムの目標を「福島第一原発の α 核種内部汚染発生時の医療対応フローの見直し」とする。上記は、その実効性、医療の質の担保、最近の線量評価・治療経験の反映、等を踏まえて行う。そのために、福島第一原発に於ける廃炉工程、廃炉工程における α 核種内部汚染リスクの現状、 α 核種内部汚染における放射線生物学的影響、 α 核種内部汚染の課題(特に

線量評価の観点から過去の事例を踏まえて)、緊急時の会員の役割、等の理解と確認を行う。本シンポジウムが本会員間での情報共有と意思統一、ひいては医療サービスの向上の一助となれば幸いである。

- 1) JAEA 大洗研究所におけるプルトニウム内部汚染事故の教訓 1.; 初動現場の放射線管理対応(20分)
演者 百瀬琢磨(日本原子力研究開発機構)
- 2) JAEA 大洗研究所におけるプルトニウム内部汚染事故の教訓 2; 治療現場の線量評価と治療(各 15 分 計 30 分)
演者 栗原 治 (量子科学技術研究開発機構)
富永 隆子(量子科学技術研究開発機構)
- 3) 福島第一原発における α 核種内部汚染のリスク(20分)
演者 高平史郎(東京電力福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 燃料デブリ取り出しプログラム部 環境整備・線量低減PJグループマネージャー)
- 4) 福島第一原発における α 核種内部汚染発生時の対応フロー案(40分)
演者 林田敏幸(東京電力福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 防災・放射線センター放射線・環境部長)

休憩(進行状況により休憩時間を調整いたします。)

- 5) 指定発言(各 5 分 計 10 分)
演者 細井 義夫(東北大学)
演者 谷川 攻一(ふたば医療センター)
- 6) シンポジウム総括(10分)
演者 明石 眞言(東京医療保健大学)

16:05-16:15 全体総括

演者 前川 和彦(社会医療法人、東明会原田病院)

16:15-16:20 閉会および次期大会長挨拶